

## アジア研究教育ユニット（世界展開力・特別経費）平成 27 年度教育研究報告書

<b>事業課題名</b>	英語研修（ハワイ）
<b>代表者名</b>	家入 葉子
<b>事業概要</b> (600 字程度)	<p>ハワイ大学マノア校のキャンパスを利用して付属の機関が実施する語学研修コース（2015 年 8 月 3 日から 8 月 21 日まで）に参加し、語学力の向上を目指すプログラム。出国から帰国までを考えると、プログラムの期間は、8 月 2 日から 8 月 23 日までであった。なお、語学研修コースは、英語の力の向上はもちろんであるが、異文化の理解と異文化間の交流を重要な目的の一つに掲げている。したがって、本プログラムは、語学コースへの参加を通じてハワイの歴史や文化を学ぶと同時に、日本の歴史文化をハワイの人々に理解してもらうための取り組みをも行うことが出来るようデザインされたものである（SEND）。このため、参加者は、すでに一定の語学力が確保できているという条件を課した上で選考を行った。プログラムの終了後には、参加者に語学研修の成績と修了証が交付された。</p>
<b>成果の概要</b> (800 字程度)	<p>2015 年度の本プログラムへの参加者は 2 名で、いずれもハワイの一般家庭にホームステイしながら、公共の交通機関を利用して語学研修コースに参加するためにハワイ大学に通学した。参加者は、カリキュラムの一部として設定されたハワイ大学の学生との交流に従事したほか、キャンパスを離れての実習にも参加しながら、現地の人々との文化交流を行った。これらの機会を通じて、参加者はハワイの歴史や社会について学ぶとともに、日本の文化を異文化の人々に紹介する機会（SEND）をたびたび得ることができた。同様に、滞在していた家庭においても、日常的なレベルでの文化交流を行うことができた。</p> <p>語学に関しては、3 週間という短期で目に見える向上を期待するのは容易ではないというのが正直なところである。しかし、日本人同士であっても英語を使ってコミュニケーションを行わなければならないという体験を 3 週間継続することで自信を深めることができた点には、大きな意味を見出すことができよう。</p> <p>プログラムの終了後には、文学研究科第 6 講義室において報告会（2015 年 10 月 7 日）を開催し、プログラムの参加者と関係の教員が全体の総括を行った。また、語学に関する事、文化交流に関する事、渡航に関する事、などプログラムの詳細についての懇談を行った。いずれの参加者もプログラムでの経験を肯定的に捉えており、短期の語学研修ではあったが、体験によって学ぶことの意義は大きかったとの感想を述べた。参加者のうち 1 名は、国際交流全般にわたって今後とも貢献をしたいという意識から、今回のプログラムとは別に、年度内に文学研究科の行事として開催されたハイデルベルク大学、ストラスブール大学への派遣プロジェクトにも参加した。</p>